

「野田市の伝統産業と商業・業務機能が共存する魅力と活力に満ちた拠点づくり」を目指して

事業の目的

- 東武野田線（野田市）連続立体交差事業と一体的に整備します。
- 交通の円滑化、都市機能の集積、安全で快適な都市空間の形成を図ります。
- 歴史的、文化的資源を活用し、野田市の伝統産業と商業・業務機能が共存する魅力と活力に満ちた市街地を再構築します。

土地利用計画

- 野田市駅野田橋線、野田市駅中根線及び野田市駅前線の沿道に商業・業務ゾーンを配置します。
- 地区周辺の醤油醸造業との調和を図るため地区外縁部に工業ゾーンを配置し、野田市の伝統的な産業と商業・業務機能が共存したまちづくりを推進します。

公共施設整備計画

- 野田市駅野田橋線及び野田市駅中根線を都市幹線道路とし、野田市駅前線及び野田市駅愛宕線を補助幹線道路として位置づけ、地区の骨格とします。歩道は、全ての利用者にとって移動の円滑化を図るとともに安全で快適な歩行者空間を整備します。また、野田市駅前広場及び野田市駅前線は、市の玄関口にふさわしい整備を推進します。
- 区画道路は、商業・業務施設へのアクセス機能、工業系用途との土地利用の分離、連続立体交差事業の整備効果により得られる駅東西の一体性、地区外道路との接続を考慮して配置します。
- 駅周辺の回遊性の向上を図るため、特殊道路を配置して、円滑な交通体系及び安全で快適な歩行環境の整備を図ります。
- 公園は、整地、排水及び植栽等の整備を行い、居住者及び駅周辺施設利用者の交流及び憩いの場を提供します。

事業計画(第4回変更)
令和7年3月25日

計画の概要

一般事項	事業の名称：野田都市計画事業野田市駅西土地区画整理事業
	施行者：野田市
	施行面積：約6ha
	施行期間：平成18年度～令和12年度(予定)
	事業費：74.5億円
減歩率：28.0% (公共減歩)	

公共施設計画	■都市計画道路等の整備						区画道路				特殊道路	
	名称	都市計画道路			野田市駅前広場	野田市駅野田橋線	1号	2号	3号	4号	1号	2号
	3・4・8号 野田市駅野田橋線	3・4・9号 野田市駅中根線	3・4・29号 野田市駅前線	野田市駅前広場	3・5・17号 野田市駅愛宕線	約66m	約231m	約4m	約67m	約85m	約132m	
	地区内延長	約214m	約250m	—	約117m	10.5m	8m	8m	6m	6m	6m	
	幅員	16～17m	16～17m	18～20m	14m							
	備考			面積約4,500㎡	片側歩道地区外 地区内幅員10.5m							
	■街区公園の整備・・・面積1,800㎡											

設計図



まちづくりのイメージ



※この図はイメージですので 今後の検討により変更する可能性があります。